

9月11日：ベトナム株は中小型株に資金が流入

ベトナム株は水曜日まちまちの動きで、資金は中小型株に向かうことになった。

VN 指数は 0.1%下落し 969.31 ポイントで取引を終えた。

9月に入ってから 1.5%ほど指数は下落している。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.2%上昇し 100.17 ポイントで取引を終えた。直近 6 営業日での 2.3%の下落から反発をした。

出来高は 1 億 8000 万株で売買代金は 4.1 兆ドンであった。

主要指数以外の指数は市場心理が改善してきていることを示していた。

VN30 指数と HNX30 指数はどちらも 0.28%上昇。中型指数、小型指数はそれぞれ 0.09%と 0.59%ほど上昇した。

中型、小型指数の上昇は投資家が投資のチャンスを探していることを示している。

最も大きく上昇したセクターは建設資材で 2.5%上昇した。

鉄鋼セクターも上昇、ホアファットグループ (HPG)、ホアセングループ (HSG)、ポミナ (POM)、ティエンレン鉄鋼 (TLH) などが上昇した。

それらの企業はすべて支持材料が出たために上昇した。

ホアセングループは 16500 株の自社株買いを発表し 2.3%ほど上昇した。

ポミナは 3630 万株以上を発行し株式配当をする計画を発表した。同社株は 2.4%上昇した。

ホアファットとティエンレン鉄鋼は 3.5%、2.7%上昇した。

地場鉄鋼企業は、中国からの安価な鉄鋼への調査に政府が動いたことから恩恵を受けた。

その他上昇したセクターはゴムプラ、ホールセール、保険などであった。

下落したセクターは、農業、ヘルスケア薬品、水産加工、消費財、電気機器などで相場の重荷になった。

株式市場は流動性が少なく苦しんでいるとサイゴンハノイ証券は語った。

221 銘柄が上昇し、187 銘柄が下落した。資金は様々なセクターに向かいだしたと同証券は語る。

VN 指数は今後数日はテクニカル的な反発をするチャンスがある。外国人投資家は 80 億ドンの売り越しだったが、市場へのインパクトはわずかである。

SHS によると、市場には支持材料やニュースがほとんどなく、指数は横ばいで動くだろうとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。